



日本パーソナリティ心理学会

アフター・カンファレンス企画（共催：日本社会心理学会）

統計セミナー

心理学研究におけるサンプルサイズ

日時：2016年9月16日（金）10時～12時（第25回大会翌日）

場所：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス社会学部 202 教室

（開催場所にご注意ください）

企画・マネジメント 村井潤一郎（文京学院大学）

認知心理学研究におけるサンプルサイズ設計（井関龍太 大正大学）

臨床心理学研究におけるサンプルサイズ設計（国里愛彦 専修大学）

社会心理学研究におけるサンプルサイズ設計（山内香奈 鉄道総合技術研究所）

発達心理学・教育心理学研究におけるサンプルサイズ設計（宇佐美慧 筑波大学）

会員資格を問わず来場自由・予約不要・参加費無料

問い合わせ：jspp2016kandai@gmail.com

量的データに基づく心理学研究を遂行するうえで、サンプルサイズをいくつに設定するかという点は、研究結果を左右する重要な要因の1つである。しかしながら、データ収集前に何らかの方法でサンプルサイズについて決定するといった試みは、ほとんど行われていないのが現状であろう。一方、国際誌においては、サンプルサイズ設定の問題やその根拠によってリジェクトされる趨勢も見られるようになってきた。本企画では、具体的な研究例を取り上げながら、サンプルサイズ設計の実際について、認知心理学、臨床心理学、社会心理学、発達心理学、教育心理学、それぞれの領域ごとに解説していく。

